

8月6日

私達はなぜ、受け継ぐのか

戦後73年が経ち戦争体験者が減少する中、体験継承の重要性が唱えられていますが、博物館はどのように戦争体験にアプローチすることができるのでしょうか。本展では、“8月6日”を手がかりにふたつの展示から考えます。

「レプリカ交響曲《広島平和記念公園8月6日》」(土屋大輔&ビジュアル・エスノグラフィ・プロジェクト)は、2015年8月6日、戦後70年目の広島平和記念公園の1日を17地点で撮影し、17台のモニターに映し出すインスタレーション作品です。そこに浮かび上がる情景は多様であり、多層的です。同時にそれは、戦争体験継承の多様性、多層性を表すものでもあります。

「8月6日のワンピース」は、1945年8月6日、学徒勤労動員中に被爆し、同12日に亡くなった木村愛子さんのものとして保管されていたワンピースを中心にした展示です。このワンピースは、戦没動員学徒の追悼施設を経て当館に引き継がれました。ここでは、愛子さんの爆心地での体験に近づくことを試みるとともに、遺されたワンピースを介してこれまで何が共有されてきたのかを再考します。

また、本展では最後に来館者にも展示の中で感じたこと・考えたことをアウトプットしていただきます。

過去と現在の“8月6日”の展示を通じて、来館者が主体的に戦争体験を想像し反芻する行為を促すことに、博物館における戦争体験継承のひとつの可能性を示します。

この展示は、JSPS科研費16K12814 「平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築」(2016-2018)の助成を受け、プロジェクトの成果として実施するものです。

写真：土屋大輔&ビジュアル・エスノグラフィ・プロジェクト

 立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899
<http://www.ritsumeikai.ac.jp/mng/er/wp-museum/>

[交通案内]

- JR・近鉄 京都駅より 市バス50・JRバス
 - JR・地下鉄 二条駅より 市バス55
 - 地下鉄 北大路駅より 市バス204・205
 - 京阪電車 三条駅より 市バス15・51・59
 - 阪急電車 烏丸駅より 市バス55
 - 阪急電車 西院駅より 市バス205
 - 地下鉄 西大路御池駅より 市バス205
 - JR円町駅より 市バス15・204・205
- * JRバス、市バス15・50・51・55・59にて「立命館大学前」下車徒歩5分
* 市バス204・205にて「わら天神前」下車徒歩10分
お車での来館はご遠慮ください

